

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成 25 年度 臨時総会

議 事 録

日時 平成 26 年 3 月 27 日（木） 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

- 次第
1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 議長挨拶
 4. 総会役員選任
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 5. 会長挨拶
 6. 資格審査報告
 7. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 26 年度事業計画案に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 26 年度収支予算案に関する件
 - 3) 第 3 号議案 平成 26 年度役員交代に関する件
 8. 議事録署名人選任
 9. 総会役員解任
 10. 閉会の辞

議事録（概要）

1. 開会の辞

定刻どおり、司会の吉本副会長より平成 26 年度臨時総会開会の辞があった。

2. 議長選出

議長の選出については総会出席者の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の吉本副会長より、堀田真希氏（大阪大学医学部附属病院）、上遠野明氏（南大阪病院）の 2 名の提案があり出席者の挙手をもって承認された。

3. 議長挨拶

堀田議長より、議長就任の挨拶。

4. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

堀田議長より、資格審査委員兼議事運営委員として、理事から田畑常務理事、高田常務理事 2 名と、出席者から八木美智子氏（大阪大学医学部附属病院）、是永愛氏（森之宮病院）、三上英子氏（高津病院）の 3 名が選任され、両委員会の委員長に田畑常務理事が選任された。

2) 書記任命

堀田議長より、公益社団法人大阪府臨床検査技師会事務所職員の岩崎和子氏、出口由紀子氏が任命された。

5. 会長挨拶

会員の皆様には当会の運営に理解と協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年 9 月に公益社団法人に移行し、旧法人で消化できなかった事業を引き継ぎ進め、今日に至っております。

平成 26 年度事業計画と収支予算案については、当法人の現定款により総会の承認を得ることとされることから、本日の臨時総会開催となりました。5 月の定時総会で定款の一部修正を提議し、承

認を得て次年度より年1回の総会開催とする予定です。

本日の臨時総会では、平成26年度事業計画案・収支予算案と監事1名の退任に伴う後任監事の承認についてご審議をよろしくお願い致します。

以上、ご挨拶とさせていただきます。

6. 資格審査報告

田畑資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数24名、委任状数2,110名、計2,134名で、平成26年3月27日現在の正会員数3,184名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。

当報告を受け、堀田議長より定款17条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を上遠野氏に交代した。

7. 議案審議

1) 第1号議案 平成26年度各部事業計画案に関する件

① 基本計画について

公益法人としての事業を積極的に進める。

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進
府民健康フォーラム、大放技・大臨技合同フォーラム、マタニティカーニバル、看護の日、市民健康展、その他の公益事業を行う。
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養、その他、多職種がチームで医療を行う公益事業を行う。
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽をすすめる事業を行う。
4. 精度保証事業（データ標準化を含む）の推進
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進めます。
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談が出来る環境を支援する。
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業
教育機関の先生と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う。

以上、ご審議よろしくお願い致します。

② 事務局計画案について

事務局としては、公益社団法人としての組織体制の確立を目指します。そのために、

1. 各種規程の
改訂理事会において、現行の各種規程を公益社団法人に準拠したものに改訂し、また、必要であれば新たな規程を制定します。
2. 組織運営の充実
総務部は、新規程に準じ、総会、理事会および各種委員会を開催する。平成26年度からの新たな委員会として、来年開催される平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会の担当が大臨技となるため、これに向け4月から学会実行委員会を立ち上げる
会員等への各種表彰は、感謝状表彰や永年会員表彰等に関連する細則の見直しも含め会員にとってより充実したものとする。
会員への広報は、大臨技ニュースならびに大臨技ホームページの内容を逐次更新し、これらを主軸として有益な情報をリアルタイムで正確に提供する。
各教育機関との連携は、臨床検査教育機関懇談会の開催や各教育機関の学生に対し、大臨技活動の啓発を目的に大臨技ニュースの配布や卒業式時に大臨技会長賞の授与を行い、平成26年度から大臨技登録学生制度を発足する。
3. 事務体制の強化
事務体制は、会員管理の強化を図るため平成23年度から導入した大臨技会員管理システムの運用を始め、大臨技会員証の発行、大臨技のみの会員のための大臨技臨床検査技師賠償

責任保険の管理、大臨技登録学生制度の発足に伴い、大臨技登録学生カードの発行などを行い大臨技登録学生の管理を行う。

財務管理は、公益社団法人に準拠した適正な財務管理を継続し、主務官庁である大阪府へ当該年度の財務管理関係報告ならびに事業報告を行う。

4. 府民ならびに関連団体との交流の推進

府民ならびに関連団体との交流は、府民ならびに他職種の方々に対して積極的にホームページ等で公開講座の広報を行い、参加した府民の方々の健康保持・増進への貢献や他職種の方々への情報提供を行う。

府民公開講座は、渉外部が担当して、大阪府薬剤師会ならびに大阪府栄養士会と共催する「府民健康フォーラム」を10月に、大阪府放射線技師会と共催する「大臨技大放技合同フォーラム」を1月に開催を予定し、大阪府看護協会に協力する「看護の日」は5月に開催を予定しています。

また、これらの他団体とはホームページ上での相互リンク等で情報の共有化を図り、その他の団体とも現在31団体ある大阪府地域医療推進協議会への参画により連携を図る。

5. 社会貢献活動の推進

渉外部が担当する社会貢献活動の推進は、医療関連団体である当会が率先して輸血用血液製剤の確保のために街頭で献血の呼びかけを行う献血推進活動を、適正在庫の確保が最も困難である時期8月と2月に予定しています。

障がい者に対する理解と協力については、医療現場における視聴覚障害者とのコミュニケーションを目的として手話講演会を府民公開講座として開催を予定しています。

予防啓発事業の推進については、街頭キャンペーンや府民公開講座によるがん予防検診事業やHIV予防啓発事業を予定しています。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

③ 事業局計画案について

1. 学術部は、公益事業として学術講演会を年1回と部門別研修会・講演会を開催します。他の事業部の企画への協力をし、他団体（大放技、薬剤師会、栄養士会、看護協会等）との学術交流活動へ企画から参加し、講師推薦などの協力をを行う。府下教育機関と共同で大臨技教育セミナーを開催する。

2. 地区事業部は、地域の会員相互の交流強化を行い、自由集会及び、地域オープンセミナーを開催する。

健康展を初めとして府民参加型健康啓発事業に関する協力をし、次年度から新たに検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催を行う。

3. 情報組織部の本体としては、新入会員研修会を8月2日この場所で行い、新入会員及び未入会者を対象に技師会活動について理解を深めるものを企画します。

次に技師長会を2月に予定し、ねらいは検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化に繋がります。

多職種合同チーム医療研修会を10月4日に予定しています。検査技師及び他の職種従事者を対象としたチーム医療活動における横断的研修会を行います。チーム医療関係では糖尿病療養指導部会は定例勉強会を4回行い、講演会を2回予定。IC T部会は定期講習会を院内感染データの集計方法についてと感染対策プレゼンテーション方法の2回を予定。NST・褥瘡部会は研修会を2回予定。生殖医療技術部会は1回の講演会を予定。内視鏡検査部会は他の職種と合同で講習会4回と実技講習会を1回、予定。

以上、ご審議の程、宜しくお願い致します。

以上の第1号議案「平成26年度各部事業計画案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成26年度収支予算案に関する件

「平成26年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。

収入の部では、会費収入について100万増で2,020万円。事業収入は、広告収入4万円減、学術部講演収入173万円増で1,690万円。補助金収入は、増減なしで40万円。雑収入は、その他の収入について昨年賛助収入を見込んだが見込みなしの148万減で95万円。収入合計3,662万円を計上した。

支出の部1では、人件費1万円増で706万円。会議費5万円増で62万円。事務経費1万円増で375万円。事務所費増減なしで299万円。支出の部1小計で1,442万円を計上した。

支出の部2では、学術研究費は1部門が加わり254万円増で1,386万円。広報費の会報印刷費はホームページ掲載により0円、大臨技ニュース増刷で20万の増で234万円。情報組織費はチーム医療に1部門が加わるにより179万円。渉外費は、増減なしで136万円。地区事業費は増減なしで119万円。各種研修会費は1部門学術部に統合され1万円。各種委員会費は1部門チーム医療に移り33万円減で85万円。諸経費の諸謝金は会計事務所の変更により10万減、雑費が会費振込手数料自費負担となり20万減で80万円。支出の部2小計で2,220万円を計上した。本年度は支出の部1,2を合計した当期支出は121万円増額の3,662万円を計上した。

以上の第2号議案「平成26年度収支予算案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

3) 第3号議案 平成25年度役員交代に関する件

平成26年3月末で、税理士の山中俊郎監事が退任されます。後任監事として公認会計士補の柴芳浩氏を理事会全員一致で推薦することにしました。

柴芳浩氏は当会の会計で助言と公益法人移行に向けてのご指導もしていただいたこともあり、後任監事にふさわしい方です。後任監事承認についてご審議をお願いします。

以上の第3号議案「平成26年度役員交代に関する件」は意見なく挙手多数をもって承認された。

9. 議事録署名人選任

上遠野議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、安江智美氏（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター）、小宮山恭弘氏（大阪鉄道病院）の2名が選任された。

10. 総会役員解任

上遠野議長より、平成25年度臨時総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より、平成25年度臨時総会閉会の辞。（午後8時00分閉会）

平成26年3月27日

議 長 堀 田 真 希 印

同 上 遠 野 明 印

議事録署名人 安 江 智 美 印

同 小 宮 山 恭 弘 印